

課題探求的な学習の指導展開例（本時）

3年 相手の意見も大切に

内容項目 B 相互理解、寛容

資料名 「日曜日の公園で」

本時のねらい

休日に公園で集まり、何をして遊ぶかで意見の食い違いが起きてしまうタクと「ぼく」の姿を通して、自分と違う意見も大切にするためには、どのようなことを心がけるとよいかを考えさせ、それを実践していこうとする意欲と態度を育てる。

子どもの学習活動

- 友達と意見が違って、けんかになってしまったときの経験を思い出す。

サッカーでシュートが入ったか入ってないかでもめた。

やりたい遊びがちがってけんかになった。

- 「日曜日の公園で」の範読を聞き、タクと「ぼく」の意見を整理する。

タク：「ゲームをやめて走りたい」

- ・ 天気がいいから
- ・ ヨシキがつまらないから
- ・ せっかく大ぜいであるから

「ぼく」：「ゲームをつづけたい」

- ・ ゲームがしくて集まっているから
- ・ ヨシキは見ているだけでも楽しいから

- タクと「ぼく」がけんかになってしまったのはどうしてか考える。

考えがちがうから

相手のことを考えてないから

ゆずり合っていないから

- それぞれの意見を尊重するために、どんな言い方をすればよかったかを考え、役割演技を試みる。

「ぼく」はどのように答えればよかったのかな。

みんなの意見も聞いてみようよ。ヨシキはどっちがいい？

わかったよ。そのかわり、あと10分だけゲームさせて！

- 自分と違う意見も大切にするためには、どんなことを心がければよいのかを話し合う。

**ゆずることは大切だけど、
どうして「ぼく」がタクの意見を聞かないといけないのかな？**

自分と違う意見も大切にするためには、
どんなことを心がければよいでしょう。

いつも自分が正しいと思わないようにする

ちがう意見でも、まずは理由を聞いてみる

みんなが楽しく遊べる
ことが一番大切

みんなが楽しく遊ぶために、
自分とちがう意見も大切にしていきたいね。

- ワークシートに振り返りを記入する。

[子ども一人一人の学びが深まった姿]

相手の意見も大切にすることで、意見が食い違ってもけんかにならないようにできることや、そのためにどんなことを心がければよいのかに気付いている。

**セルフチェック1
(興味・関心・疑問)**

資料の内容と関連する話題についての経験を想起させることで、子どもが関心をもって、学習に参加できるようにする。

**セルフチェック3
(課題解決の見通し)**

けんかに至るまでのタクと「ぼく」の意見を整理することで、子どもが課題解決に向けて見通しをもてるようにする。

**セルフチェック4
(協働的な課題解決)**

タクとけんかにならないために、「ぼく」はどんな言い方をすればよかったかを考え、交流・役割演技をすることで、子どもが協働して課題解決に向かえるようにする。

【評価】

意見が食い違った時には、相手の意見も大切にするとよいことを知り、そのためにどんなことを心がければよいかを考えることができている。

(反応・発言・記述)